

議 事

(1) 平成 31 年度スポーツの推進に係る主な事業について・・・P 1

- ・岡山県スポーツ推進計画（改訂版）体系図・・・P 1
- ・基本施策別事業一覧・・・・・・・・・・P 2
- ・教育庁保健体育課の主な事業・・・・・・・・P 9

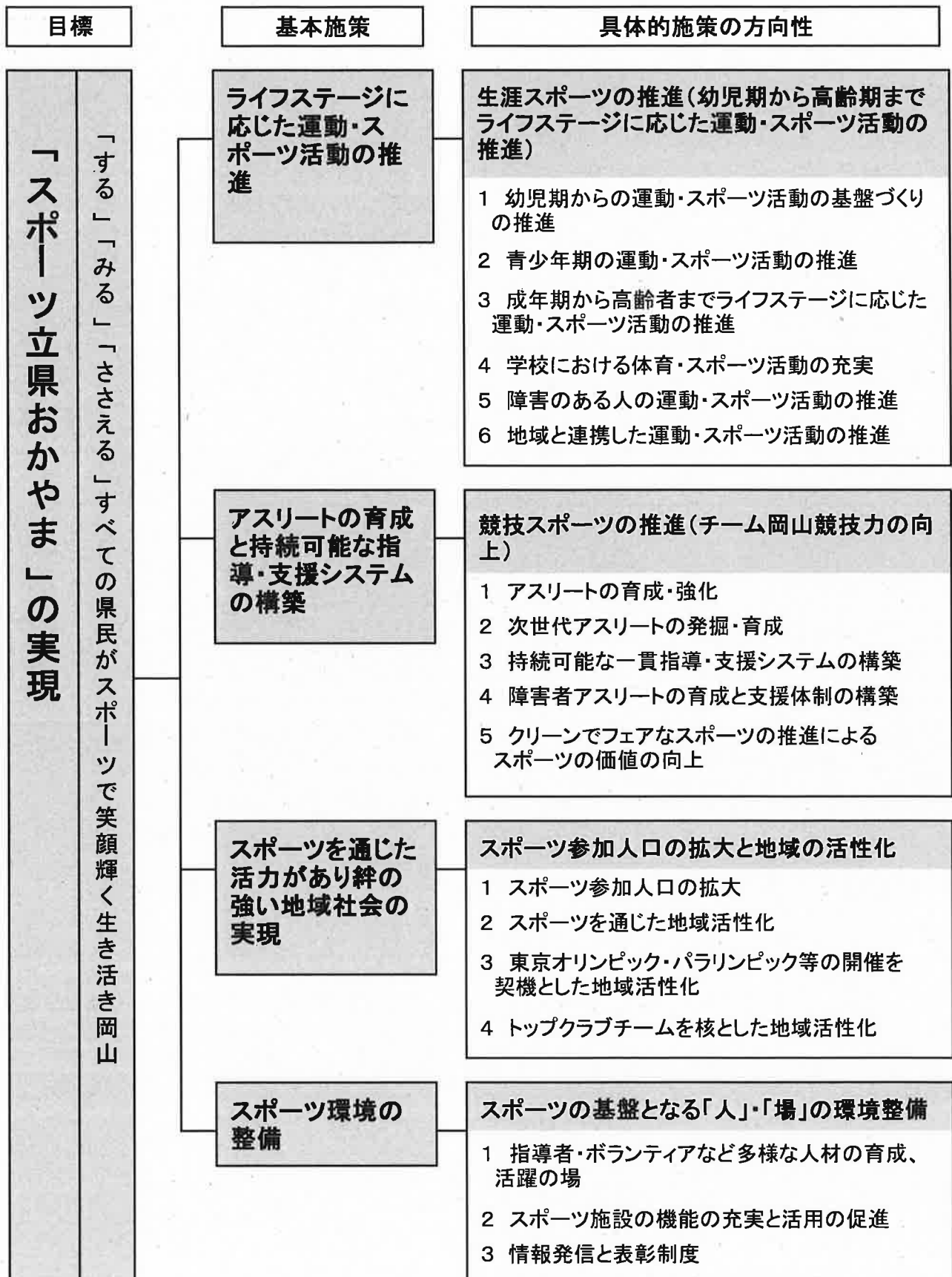
(2) 平成 31 年度スポーツ団体への補助金について・・・P12

(3) 岡山県運動部活動のあり方に関する方針について・・・P15

(1)平成31年度スポーツの推進に係る主な事業について

岡山県スポーツ推進計画(改訂版) 体系図

(改訂後の計画期間:平成30(2018)年度～平成34(2022)年度 5年間)



基本施策別事業一覧

※複数の基本施策に該当する事業は、比重の高い基本施策に記載している。

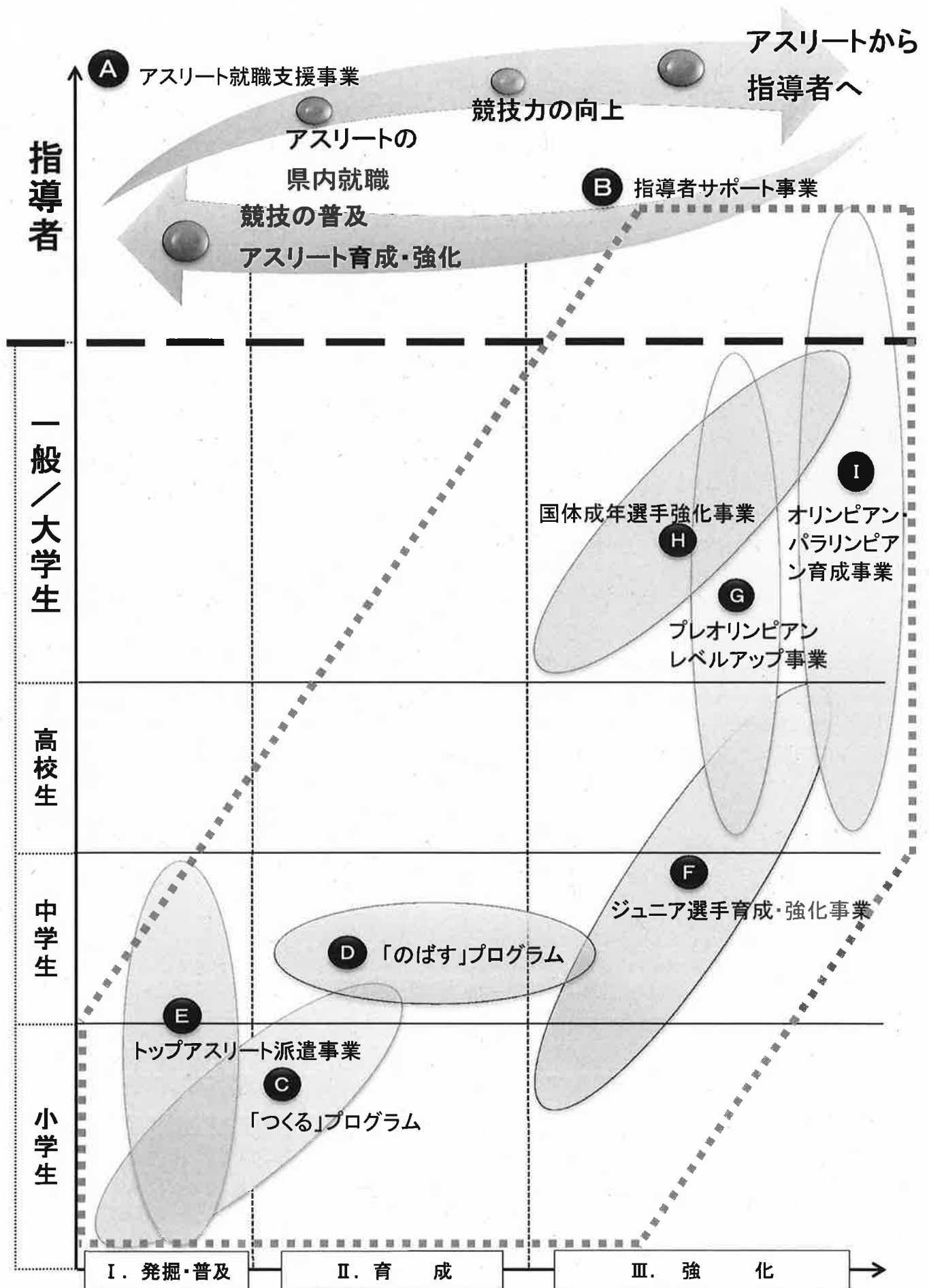
基本施策Ⅰ ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進

項 目	内 容	予算額 (千円)
ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の促進	市町村等と連携し、幼児期・高齢期における運動促進モデル事業等を実施する。	7,553
学校体育の充実等	P. 7～のとおり	
障害者スポーツへの理解と参加機会の確保	① 障害者スポーツ大会の開催 障害のある人がスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障害に対する理解と認識を深め、障害のある人の社会参加を促進することを目的とした大会を開催する。	13,101
	② 障害者スポーツ教室の開催 障害のある人の体力増強・交流等、また、障害者スポーツの普及を目的としたスポーツ教室を開催する。	1,421
	③ 岡山吉備高原車いすふれあいロードレース大会の開催 主催者(組織委員会)の構成員として参画し、大会を開催する。	2,700
	④ 障害者スポーツ競技研修会の開催 障害の特性に応じたスポーツの指導に必要な知識・技術を有するスポーツ指導者を養成するための研修会を開催する。	452

基本施策Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

項 目	内 容	予算額 (千円)
アスリートの育 成・強化	① 優秀選手の育成・強化 ジュニア選手の育成・強化、国体成年選手の強化等を図る。	131,962
	② 国民体育大会への派遣 第74回大会及び第75回冬季大会に岡山県選手団を派遣する。	87,686
次世代アスリート の発掘・育成	① オリンピアン・パラリンピアン育成事業 東京オリンピック・パラリンピックに本県選手を輩出するため、競 技力向上の支援・環境整備等を行う。	11,539
	② プレオリンピックレベルアップ事業 将来のオリンピックとなることが有望な選手の育成環境を整備す る。	15,936
	③ つくろう・のばそう！スポーツプロジェクト ジュニア層の競技人口の増加、競技力の向上等を図る。	3,778
持続可能な一貫 指導・支援システ ムの構築	① 指導体制の確立 トップアスリート派遣、指導者サポート事業等を実施する。	17,468
	② 【新規】アスリート就職支援事業 本県に就職を希望するアスリートを支援する。 (詳細はP. 5のとおり)	2,909
障害者アスリート の育成等	① 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣 茨城県で開催される第19回大会へ岡山選手団を派遣する。	27,077
	② 全国障害者スポーツ大会地区予選会への選手団派遣 中国・四国地区予選会に団体競技の県代表チームを派遣する。	4,395
	③ 障害者スポーツ指導員の養成 障がい者スポーツ指導員を他県の講習会等に派遣する。	224

競技力向上に係る事業



岡山県アスリート就職支援事業【新規】

事業趣旨・目的

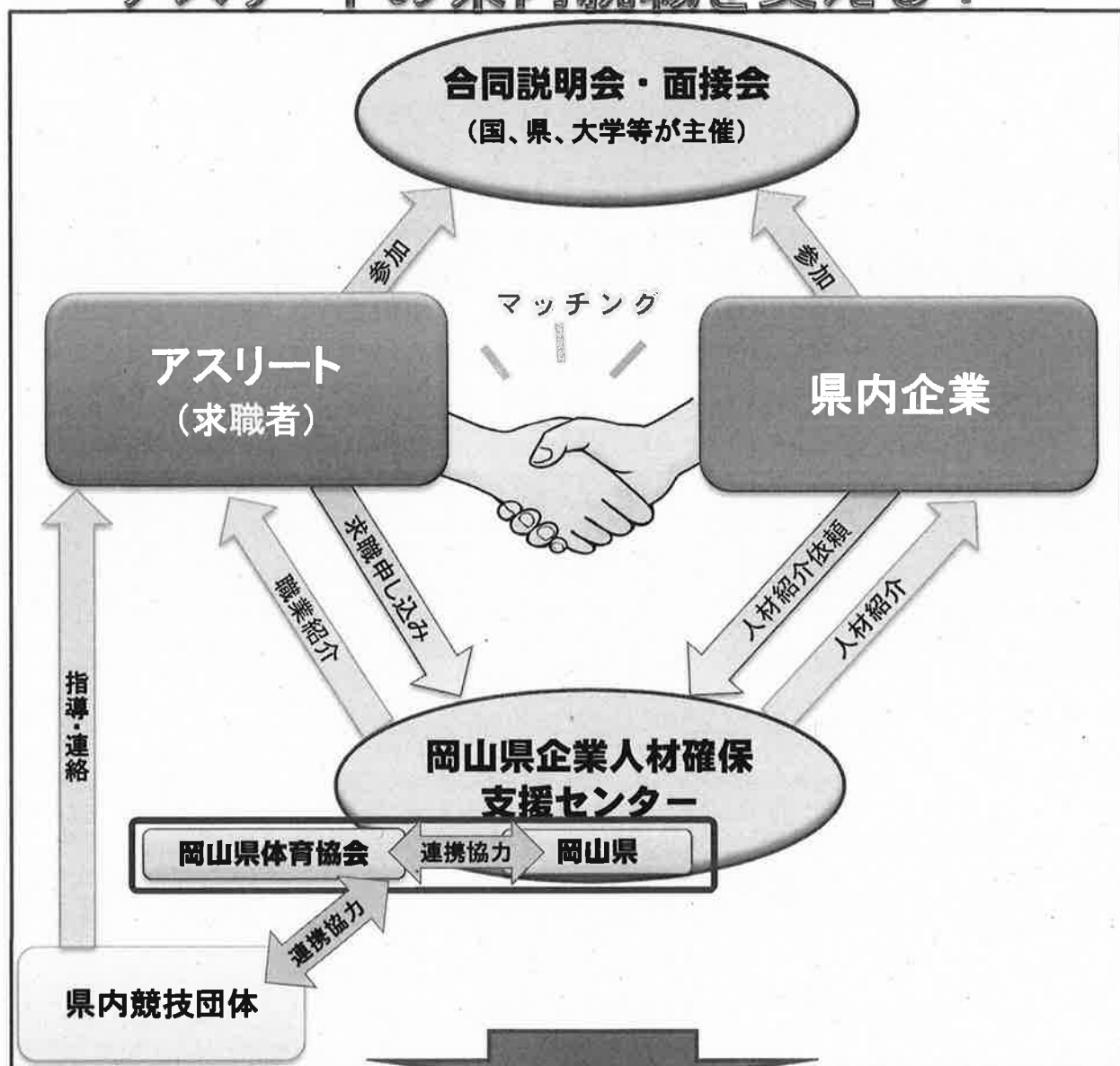
競技スポーツを継続し、国体や全国大会などを目指す意思のあるアスリートの県内就職を促進し、成年選手を確保することで、国体男女総合成績10位台の維持を図るなど、本県の競技スポーツの推進に資する。

また、この取り組みにより、本県への就職者の増加に寄与する。

事業概要

- ・アスリートと企業に対する働きかけ
(岡山県企業人材確保支援センターへの登録、合同説明会・面接会への参加促進など)
- ・岡山県企業人材確保支援センターによるアスリートと企業のマッチングのサポート
- ・既存の合同説明会・面接会へアスリート専用相談ブースの設置
- ・内定者等を対象とした研修会の実施
- ・ホームページによる広報

アスリートの県内就職を支える！



就職者の増加、競技スポーツの推進

基本施策Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現

項 目	内 容	予算額 (千円)
おかやまマラソンの開催	第5回おかやまマラソンを開催する。(実行委員会への支出)	189,122
環境スポーツイベントの支援	【拡充】地域資源を生かした環境スポーツ支援事業 海・湖・里・山といった自然環境を生かした環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」の開催を支援する。	1,700
東京オリンピック・パラリンピック関連	① 【拡充】オリンピック・パラリンピック キャンプ誘致促進事業 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、ナショナルチーム等の事前キャンプや、トップレベルの大会を誘致する。	28,690
	② 【拡充】聖火リレー開催等気運醸成・レガシー創出事業 東京オリンピックの聖火リレーについて、準備を進める。	9,907
トップクラブチームを核とした地域活性化	【新規】トップクラブチームサポーター拡大事業 県内を拠点に活躍するトップクラブチームの試合を活用した応援イベントを実施し、応援気運の醸成等を図る。	5,265

基本施策Ⅳ スポーツ環境の整備

項 目	内 容	予算額 (千円)
スポーツ施設の維持管理	① スポーツ施設の管理(指定管理料等) ・スポーツ振興課所管分 40,134千円 (岡山武道館、津山総合体育館、美作ラグビー・サッカー場等) ・都市計画課所管分 413,366千円 (総合グラウンド、倉敷スポーツ公園)	453,500
	② 笠岡陸上競技場の改修(日本陸連公認の更新) ・トラック等の全面改修 132,622千円 ・写真判定機等の器具購入 18,367千円	150,989
	③ 岡山武道館の改修 練習道場の建替に係る実施設計、練習道場の解体	75,788
	④ 津山総合体育館の改修 床の全面改修、柔剣道場の空調設備の更新	106,843
表彰制度	岡山県スポーツ特別顕彰、岡山県トップアスリート賞等によって、優秀選手等を顕彰する。	2,337

東京オリンピック・パラリンピックへのカウントダウン
2020年の開催まで残り1年！！

開催に向けて気運が徐々に醸成されてきた！

聖火リレー開催等気運醸成・
レガシー創出事業

聖火リレー実施に向けた着実な準備！



- ・セレブレーション等聖火リレーの主要セレモニーに係る計画策定
- ・聖火リレーの啓発・PR

オリンピック・パラリンピアン
育成事業

本県から一人でも多くのオリンピック・パラリンピックの選手を輩出



- ・選手育成に不可欠なトレーニングに関する支援
- ・トップ選手の育成環境の整備

オリンピック等キャンプ
誘致推進事業

オリンピック・パラリンピック事前キャンプの効果を波及・拡大！



- ・事前キャンプにつながる県内合宿の誘致や地元との交流
- ・世界又は国内トップレベル大会の誘致

ライフステージに応じたスポーツ活動促進事業

県内のスポーツへの関心
気運の盛り上がりを加速！

【目指す方向】

スポーツへの参加による生きがい・健康づくり！

大会開催を契機とした本県の知名度向上！

本県から1人でも多くのオリンピック・パラリンピック選手輩出！

トップクラブチームサポーター拡大事業

ねらい



- 来場者、サポーターの拡大
- 県民の一体感・応援気運の醸成
- 誘客促進・地域活性化



H30年度
アンケート結果

県民応援デー会場

- 公式戦でのイベントを積極的に行うべき 約90%
- 参加型イベントは興味や観戦のきっかけになる 約80%

クラブチーム
観客動員数

4クラブチーム（ファジアーノ、シーガルズ、ベル、シャルム）

- 現状（H29） 223千人
- 目標値（H34） 273千人（岡山県スポーツ推進計画）

公式戦会場や周辺で...



応援イベントの一例



SNSフォトコンテスト

観戦の楽しさが伝わる写真を投稿してもらうことで、サポーターからの魅力発信！



チーム岡山応援コーデ

クラブのユニフォームや応援グッズの試着ブース等を設置し、SNSへの投稿意欲を高める



クラブ毎の自主企画

高校生物品販売、ピッチDEマッチなどの楽しい参加型イベントで会場を盛り上げ！

PRIDE・OF・中四国

中四国のJクラブや自治体等が、お互いのJリーグの試合を通じて交流

「対戦+観光+物産」をキーワードに、中四国連携イベントや観光PRブースを設置し、各県の情報を発信

スタンプラリー・順位予想・観光PR など



教育庁保健体育課の主な事業

学校での体育の充実を図るとともに、健康教育や食育の推進を通して子どもたちが望ましい生活習慣を身に付けることにより、生涯にわたりたくましく生きるための健康・体力づくりを推進します。また、子どもの体力向上への意欲を高めるとともに、スポーツを通じて、規範意識や豊かなコミュニケーション能力、人間関係を築く力を醸成します。

《学校体育の充実》

(予算額の単位：千円)

H31の取組	校種等	内容	予算額
チャレンジランキング	保、幼 こ 小、中 中等 高、特	クラス等のグループ単位で様々な運動に楽しみながら挑戦し、記録をホームページ上で競うことで、園児・児童生徒の運動の習慣化を図る。	— (運営費で対応)

《スポーツを通じた規範意識の向上等》

(予算額の単位：千円)

H31の取組	校種等	内容	予算額
中学校運動部活動支援	中、中等	選手強化や全国中学校体育大会等派遣費補助など、中学校の運動部活動の支援を行う。	6,549
高等学校運動部活動支援	中等、高	選手強化や全国高等学校総合体育大会等派遣費補助など、高等学校の運動部活動の支援を行う。特に、2020年度に岡山で分散開催予定の全国高等学校総合体育大会（剣道）に向け、競技力強化についての取組を一層推進する。 【拡充内容】2020年度インターハイ開催種目強化（剣道） 0→500千円	13,439
拡充			
オリンピック・パラリンピック教育推進事業	小、中 中等 高、特	オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるだけでなく、スポーツの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等を促進する。	2,339
新規			
部活動指導員配置事業	中	適切な練習時間や休養日の設定等、部活動の適正化を進めている県立中、中等教育学校及び高等学校並びに市町村立学校を対象に、部活動指導員を配置し、又はそれに係る経費の一部を補助することで、部活動のさらなる質的な向上を図る。 【拡充内容】市町村立中学校 100人→125人 【新規】県立学校 0人→10人	32,999
運動部活動指導員配置事業	中等、高		
新規			
スポーツ医・科学に基づいた指導等に関する研修会	中、中等 高	「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に示した適切な休養日及び活動時間の設定とともに、生徒の身体的・精神的状態を見極めた効果的な指導等を徹底するため、研修会を開催する。	792
新規			
方針実践モデル校事業	中、中等 高	「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に基づいた適切な運動部活動が県内で早期に展開されるよう、モデル校を指定し、実践した成果を普及する。	3,496
新規			
学校・地域スポーツ環境整備事業	中、中等 高	「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に示した、運動部活動と地域スポーツとの連携・協働を進めるため、岡山県体育協会にコーディネーター機能を設け、部活動指導員とのマッチングやモデル校の調整等を行う。	1,172
新規			
優良事例発表会	中、中等 高	「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に基づいた適切な運動部活動が県内で早期に展開されるよう、方針の実現に向けた実践の成果を普及し、本県運動部活動の改革を加速化させる。	142
新規			
2020年度全国高等学校総合体育大会開催事業	中等、高	2020年度の北関東インターハイの分散開催に伴う岡山県での剣道の開催について、広報や審判員の養成等の諸準備を行う。	4,640
新規			

<廃止事業>

- ・地域スポーツ指導者派遣事業
- ・平成30年度全国中学校体育大会開催準備費（開催種目強化費含む）

「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」プログラム

方針に基づいた適切な運動部活動が県内で早期に展開されるよう、方針の実現に向けたプログラムを展開し成果を普及し、本県運動部活動の改革を加速化させる。

岡山県運動部活動の在り方に関する方針（H30.9策定）

- ①適切な運営のための体制整備
- ②合理的かつ効率的・効果的な活動の推進のための取組
- ③適切な休養日等の設定
- ④生徒のニーズを踏まえたスポーツ環境の整備
- ⑤学校単位で参加する大会等の見直し
- ⑥安全管理と事故防止

生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築



3つの柱でプログラムを展開

要求額:38,601千円

	運営のための体制整備①⑤⑥	科学的根拠に基づく活動②③	地域等との連携④
	・教職員の時間外縮減 △25% ・参加する大会等の精選 ・安全管理等の徹底	・顧問の意識改革・指導力向上 ・休養日・活動時間の遵守	・地域でのスポーツ環境の整備 ・学校開放事業の有効活用 ・合同部活動の取組
中学校	部活動指導員配置事業 H30：100人→125人 28,000千円	指導者研修会 ➢ 休養日の重要性、生徒の身体的・精神的状態を見極めた効果的な指導の徹底 ➢ 安全管理と事故防止の徹底	方針実践モデル校事業 ➢ 方針で打ち出した内容について、モデル校で実践
高等学校	運動部活動指導員配置事業 ➢ 専門性を有しない顧問への支援 ➢ 単独引率による顧問の負担軽減 ・県立中・中等教育・高校に10人を配置 4,999千円	・スポーツ医・科学の専門家による講話 ・効果的な指導の実践事例の紹介 等 県下4会場で実施 792千円	- エビデンスに基づいた運動部活動実施モデル校(@594千円) - 総合型地域SC等との連携による運動部活動実施モデル校(@554千円) - 合同部活動実施モデル校(@600千円) 中学校(1,2,3 各1校) 高等学校(1,2,3 各1校) ※各体連・体協への委託を検討 3,496千円
学校・地域スポーツ環境整備事業 ➢ 部活動と地域との協働等を推進するコーディネート体制を構築(県体協委託) 1,172千円			
優良事例発表会 ➢ プログラムの展開で得られた優良実践を、県内に普及する。 (教育政策課主催「優良実践発表会」と共催により実施) 142千円			



- 科学的根拠に基づいた、合理的かつ効率的・効果的な活動の展開
- 教師の負担軽減による、生徒と向き合う時間の確保
- 生徒の豊かなスポーツライフの実現
- 部活動休養日における生徒の学習や社会貢献活動等の充実

2020年度全国高等学校総合体育大会開催事業

2020東京オリンピック・パラリンピックの影響により、2020年度の北関東インターハイが分散開催されることとなり、岡山県では剣道を開催する。【2020年8月15日（土）～18日（火）の4日間】

H28インターハイやH30全中開催の経験を活かして大会を成功させ、学校体育・スポーツの活性化につなげるとともに、県民に活力を与える。



競技力強化

500千円（2019）
300千円（2020）

H30全中から継続した競技力強化を実施

H30全中世代が、2020IHでも引き続き中心選手として活躍

H28～30（全中）

3年間計1,300千円／種目

2019
（前年）

500千円

2020
（開催年）

300千円

県実行委運営・役員等養成

4,640千円（2019）
4,750千円（2020）

〈広報〉

・ポスター募集、広報資材作成 等

〈諸会議〉

・県実行委総会、全国会議出席 等

〈役員等養成〉

・H28：県内役員166人
→2020：170人を養成

〈先催県視察〉

・2019インターハイ剣道
8/3～6 熊本

大会運営

4,000千円（2020）
（うち国庫1,000千円）

H28インターハイの経験を活かした運営

・H28と同一会場開催

開催地の経費負担を可能な限り軽減

- ・【大会運営費支出全体】仮設スタンドを設置しない 等による削減
H28：約33,000千円→2020：約29,800千円
- ・【開催地負担】全国高体連負担金の増 等による圧縮
H28：約12,000千円→2020：約 3,000千円



(2) 平成 31 年度スポーツ団体への補助金について

基本施策Ⅰ ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進

1 スポーツ少年団の育成（スポーツ振興課）

(1) スポーツ少年団の育成

指導者・リーダーの養成・資質向上、組織の整備・充実、国際交流事業の充実・活発化等に資する研修会の開催等を支援する。

○補助交付先 (公財) 岡山県体育協会

○当初予算要求額 200 千円

(2) 岡山県スポーツ少年大会への支援

県内各地のスポーツ少年団員の交流・親睦や資質向上を図るためのスポーツ活動や交歓行事等を支援する。

○補助交付先 (公財) 岡山県体育協会

○当初予算要求額 810 千円

2 運動部活動の支援（保健体育課）

(1) 中学校運動部活動の支援

中学校運動部活動の発表の場である大会の運営や部活動活性化に繋がる選手強化、保護者の負担軽減を目的とした選手派遣等に要する費用を支援する。

○補助交付先 岡山県中学校体育連盟

○当初予算要求額 6,549 千円

(2) 高等学校運動部活動の支援

高校運動部活動の発表の場である大会の運営や部活動活性化に繋がる選手強化、保護者の負担軽減を目的とした選手派遣等に要する費用を支援する。

○補助交付先 岡山県高等学校体育連盟

○当初予算要求額 13,439 千円

1 優秀選手の育成・強化（スポーツ振興課）

（１）ジュニア選手の育成・強化、国体成年選手の強化

国民体育大会正式競技の選手について、強豪県への遠征費等を支援する。

○補助交付先 （公財）岡山県体育協会等

○当初予算要求額 109,334千円

（２）公益財団法人岡山県体育協会の体制整備

本県のスポーツ振興の中核的存在として、県内競技団体等の強化等に関する業務及び玉野スポーツセンターの運営に係る人件費を支援する。

○補助交付先 （公財）岡山県体育協会

○当初予算要求額 22,628千円

2 オリンピアン・パラリンピアンの育成（スポーツ振興課、障害福祉課）

（１）トップアスリートのサポート

将来の日本代表が見込まれる選手等を対象に、遠征費、トレーナーの招聘やトレーニング施設の費用等を支援する。

○補助交付先 各競技団体

○当初予算要求額 6,600千円

（２）プレオリンピックのレベルアップ

オリンピック種目だが国民体育大会では未実施だった競技の器具用具の整備や、将来のトップアスリートにつながる裾野の拡大等に要する費用を支援する。

○補助交付先 （公財）岡山県体育協会

○当初予算要求額 8,513千円

3 指導体制の確立（スポーツ振興課）

（１）スポーツ推進スタッフの配置

美作ラグビー・サッカー場を拠点に、女子サッカーを通じた岡山県の情報発信や交流促進、女子サッカーの普及等に携わるスタッフについて、その人件費を支援する。

○補助交付先 （公財）岡山県体育協会

○当初予算要求額 4,050千円

（２）晴れの国トップアスリートの派遣

国内トップリーグで活躍しているチームや国民体育大会で入賞した選手・指導者等を、県内の学校や総合型地域スポーツクラブ等に派遣する経費を支援する。

○補助交付先 （公財）岡山県体育協会

○当初予算要求額 12,034千円

基本施策Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現

1 地域資源を生かした環境スポーツの支援（スポーツ振興課）

海・湖・里・山といった魅力ある自然環境（地域資源）を活用し、スポーツを通して地域の魅力を感じるとともに、自然の尊さを学ぶ機会を提供するイベント「SEA TO SUMMIT」の運営費を支援する。

- 補助交付先 実行委員会（開催地の市町村や観光協会等で構成）
- 当初予算要求額 1,700千円

2 オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致（スポーツ振興課、障害福祉課）

（1）ナショナルチームキャンプ支援

2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技種目のナショナルチームまたは代表選手が岡山県内で行うキャンプについて、その交通費・宿泊料等を支援する。

- 補助交付先 各競技団体等
- 当初予算要求額 22,800千円

（2）Touch the DREAM 事業

2020 東京オリンピック競技大会の競技種目に係る国際大会や国内トップレベルの大会について、その運営費を支援する。

- 補助交付先 各競技団体等
- 当初予算要求額 2,000千円

基本施策Ⅳ スポーツ環境の整備

補助金なし

(3) 岡山県運動部活動のあり方に関する方針について

「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」(平成30年9月)

背景

- 生徒の運動習慣の二極化や、生徒数や運動部活動数等、スポーツに取り組む環境の地域による違いがあり、スポーツへの参加の仕方も多様化している。
- 将来においても、運動部活動を持続可能なものとするため、各自のニーズに応じたスポーツを行えるよう、速やかに抜本的改革に取り組む必要がある。

目的

- 生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築する観点に立ち、運動部活動が地域、学校、競技種目等に応じて多様かつ最適な形で実施されることを目指す。
- 国のガイドラインを踏まえ、学校の運動部活動改革に向けた具体的な取組について示す。

目指す部活動の姿

学校の部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われるものであり、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校体育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程に関連して行われるものである。

知・徳・体のバランスのとれた健全な成長につながる活動

- 生徒が豊かなスポーツライフを実現する資質と能力を育む基盤

科学的トレーニングの積極的な導入等

- 短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動
- 過度の練習によるスポーツ障害・外傷等のリスク軽減や生徒のバーンアウトの防止など

適切な運動部活動

主体的・対話的で深い学びの場

- 生徒自ら目標や課題を設定し、解決に向けて仲間と共に考え、判断し、実践する自立した活動
- 限られた活動時間で工夫して練習できる資質・能力の育成

適切な運営のための体制整備

- 公務全体の効率的・効果的な実施に鑑みた運動部顧問の設定
- 生徒と向き合う時間の確保とワークライフバランスの実現

期待されること

- 生徒の自主的、自発的な参加による学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養
- 運動習慣の獲得 ○ 体力の向上 ○ 競技力の向上

生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築

本方針の内容

休養日や活動時間等の本方針での考え方

- 活動時間
…「身体的トレーニング効果が期待される時間」
※移動、準備、片付け、ミーティング、複数校での練習試合における試合間の休憩・見学等は活動時間に含まない。

- 朝練習 … 1日の活動時間に含む。

【参考】活動時間に関するエビデンス

「休養日を少なくとも1週間に1～2日設けること、さらに、週当たりの活動時間における上限は、16時間未満とすることが望ましい。」

※「スポーツ医・科学の観点からのジュニア期におけるスポーツ活動時間について」

H29.12.18 公益財団法人日本体育協会

- 文化 部 … 当面、本方針に準ずる。
- 私立学校 … 本方針を参考にする。

安全管理と事故防止

- 活動における安全対策、適切な生徒引率などの徹底
- とりわけ熱中症事故の防止等の安全確保の徹底

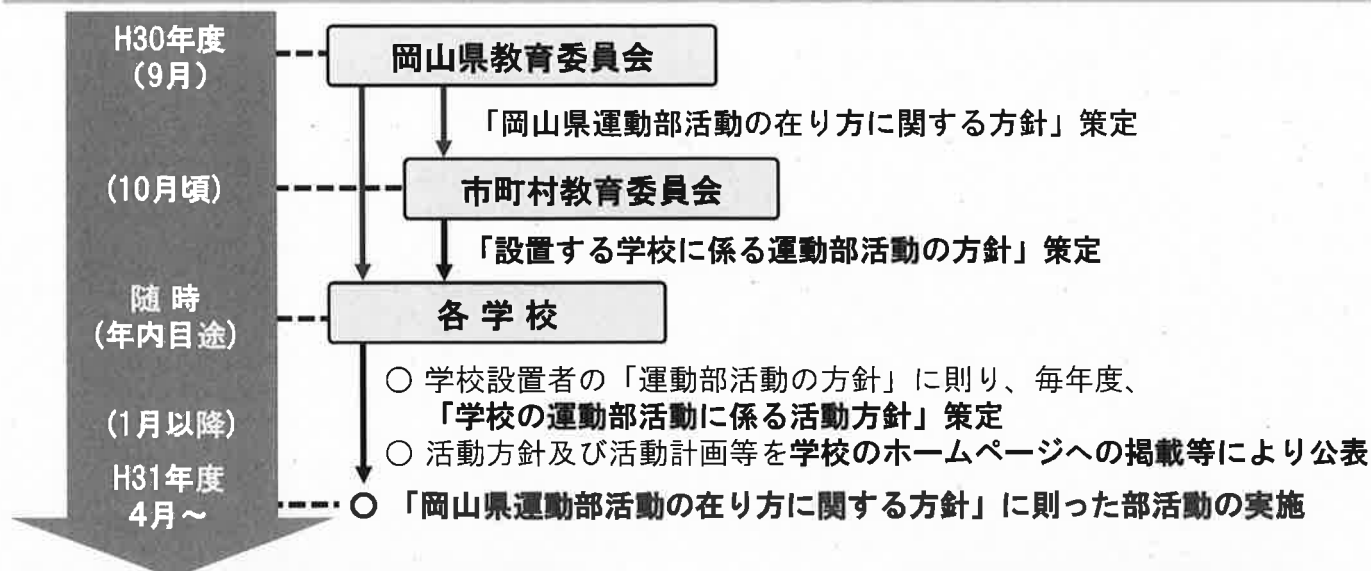
岡山県運動部活動の在り方に関する方針(H30年9月)

- 適切な運営のための体制整備
 - 運動部活動の方針の策定等
 - 指導・運営に係る体制の構築
- 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組
 - 適切な指導の実施
 - 運動部活動用指導手引の普及・活用
- 適切な休養日等の設定
 - 中学校・中等教育学校前期課程
〈休 養 日〉 週当たり2日以上。※平日1日、週末1日
〈活動時間〉 長くとも平日2時間程度、休業日3時間程度。
 - 高等学校・中等教育学校後期課程
〈休 養 日〉 原則、週当たり2日以上。※平日1日、週末1日
ただし、設定が困難な場合は1日以上。
※週末のいずれかは原則として休養日に当てる
〈活動時間〉 原則、長くとも平日2時間程度、
休業日3時間程度。
ただし、原則を超える場合は、平日3時間程度、
休業日4時間程度を上限。週当たりの上限は
16時間程度。
〈オフシーズン〉 長期休業中は、ある程度長期の休養期間を設ける。
- 生徒のニーズを踏まえたスポーツ環境の整備
 - 生徒のニーズを踏まえた運動部の設置
 - 地域との連携等
- 学校単位で参加する大会等の見直し
- 安全管理と事故防止について



ももっち◎岡山県

学校における方針等に則った運動部活動の実施



学校(校長)

1 適切な運営のための体制整備

- 学校設置者の「方針」に則り、毎年度、「学校の活動方針」を策定
- 活動方針及び活動計画等を学校のホームページ掲載等により公表
- 適正な数の運動部を設置
- 毎月の活動計画と活動実績の確認等により、活動内容を把握し、必要に応じて指導・是正

2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組

- 生徒の心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメント根絶を徹底

3 適切な休養日等の設定

- 「学校の活動方針」の策定に当たっては、学校設置者の方針に則り、休養日及び活動時間等を設定し、公表
- 活動内容を把握し、適宜、指導・是正を行う等、運用を徹底

4 生徒のニーズを踏まえたスポーツ環境の整備

- 生徒の1週間の総運動時間数の二極化の状況、特に、中学生女子の約2割が60分未満であること、また、競技力の向上以外にも、友達と楽しめる、適度な頻度で行える等、ニーズが多様であることを踏まえ、運動部を設置
- 学校と地域・保護者が子どもの健全な成長のための教育、スポーツ環境の充実を支援するパートナーであるという考えの下、保護者の理解と協力を促進

5 学校単位で参加する大会等の見直し

- 学校設置者が定める各学校の部が参加する大会数の上限の目安等を踏まえ、生徒の教育上の意義や、生徒や顧問の負担を考慮し、参加する大会等を精査

6 安全管理と事故防止

- 事故の未然防止や事故発生時の適切な対応について校内研修を実施
- 生徒に対して安全に関する指導を適切に実施
- 生徒の熱中症事故の防止等の安全確保を徹底

学校(各部の顧問)

適切な運営のための体制整備

- 年間の活動計画並びに毎月の活動計画及び活動実績を作成し、校長に提出

合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進

- 生徒の心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメント根絶を徹底
- 適切な休養の必要性や過度な練習によるスポーツ障害・外傷のリスク等を正しく理解し、科学的トレーニングの積極的な導入等により短時間で効果が得られる指導を実施

安全管理と事故防止

- 熱中症事故等の未然防止と安全確保の徹底

中体連・高体連

- 単一学校からの複数チーム参加、複数校合同チームの大会参加、学校と連携した地域スポーツクラブの参加などの参加資格、大会の規模・日程、外部人材活用等の運営の在り方に関する見直し
- 部が参加する大会・試合の全体像を把握
- 大会の統廃合等を主催者に要請
- 各学校の部が参加する大会数の上限の目安を設定

中央競技団体、体育協会等

- 部活動における指導手引を作成(HPIに掲載・公開)
- 県教委や市町村教委等と連携し、学校と地域が協働・融合した地域スポーツ環境の充実を推進
- スポーツ指導者の質の向上に関する取組に協力